

## 各寮の様子

### 芝蘭寮

今年度は7名のスタートでした。4月の終わりに新入生が入所してきましたが、とにかく毎日のように些細な口論やトラブルを起こしてくれます。どうも、自分の事よりも相手の事が気になって仕方の無い子が多く、「自分は怎なの？」と言う言葉を何回言ったことか…。学園での生活は、たくさんの人に支えられて生活することが出来ているはず。それなのに、支えてもらっている大人に対しての暴言。支え合う仲間に対しての暴言。「自分は悪くありません」と誤った正当性を主張する子。人間は生きる以上、ルールや決まりがあり、決められたルールや約束を守る事で自分の生活が守られます。また、個々に与えられた事を取り組む事で集団生活が成り立ちます。決められたことを守らず、与えられた事をきちんと取り組めないようであれば、無人島に行って1人で好きな様に生活をすれば良いと言ったこともありました。自分という存在が、たくさんの人たちによって支えられていると本気で感じたときに人は変わると思います。そのきっかけを与えるのが私たち夫婦の役割だと思い、「今の君」ではなく、「将来の君」を見据えた支援を行ってあげれば良いと思っています。

### 蛍雪寮

昨年度末に4名の退園生を見送り、6名で始まった今年度ですが、毎月1名ずつの新入生を迎えて、9名での生活を送っています。気持ちのコントロールが難しい児童がおり、学校で上手く行かずに迎えに行ったり、飛び出して寮に帰ってきたり、逆に寮に帰ることが気まずくて足が止まってしまう状況が続いています。イライラして激昂しては、またやってしまったと落ち込んで泣いて項垂れています。何度失敗しても、立ち上がって前を向くことができる居場所で在りたいと思っています。

### 芳泉寮

今年の3月に中学三年生が3名、小学五年生が退園し9名から5名で始まった平成29年度です。3ヶ月後の6月で既に8名です。とても賑やかながらも、寮生が互いを気遣い、助け合いながら、とても意義深い集団生活を送っており、家庭を離れ複雑な思いがありながらも、ひたむきに明日を見つめて生きている子どもたちに、いつも励まされる寮長・寮母です。不器用だろうと短絡的だろうと、失敗をしても諦めない。失敗を繰り返しても諦めない。それが出来るのが学園の良いところ。頑張れ！

### 晚翠寮

平成29年3月末2名の退園生を送り出し、4月1日晚翠寮は7人の寮生で生活が始まりました。中三が3名、中二が6月になって1名増え3名、小六が1名、小三が1名、現在は8名で生活しています。中学生は6名全員が野球クラブに所属し、活発にクラブ活動をしています。中3N君は副キャプテンとして、技術面でクラブ員を引っ張っています。他5名の中学生は野球未経験者ですが、毎日の練習で上達してきています。週末クラブ活動が無い日も、午後の自由時間はグラウンドで野球をやっています。小学生2名は多目的運動クラブに所属し、小六A君は町内の卓球大会に向けて練習に励んでいます。小三K君は低学年と言うこともあり、日替わりの活動内容に参加しています。自転車に乗ったり、キャッチボールをしたり、楽しく活動しています。寮内での自由時間は、ミュージックステーションなどの歌番組を見ながら、アイドル歌手の好みを話して賑やかに過ごしています。小三から中三まで年齢の幅は広いですが、小学生も上級生に萎縮することなく伸び伸び生活しています。



過去8回、天候に恵まれてきた大運動会ですが、ついにその日がやってきました。

第9回大運動会は、児童職員の願いは叶わず、雨天のため大沼中学校体育館を借りて開催しました。運動会担当は昨年度に続き、自他共に認める「雨男」の私と鈴蘭谷分校教諭。昨年度この湖畔でも、来年は雨の心配がないように「晴れ男」の自信のある方が運動会担当に名乗り出ることを期待してまずと記載しましたが、担当継続により案の定雨に降られる形となりました。

急遽大沼中学校体育館での実施となり、会場準備や種目変更など心配な点も多くありましたが、各先生方の協力のおかげで臨機応変に対応することが出来たと思います。

また、こども達も屋外で開催できなくなったことを引きずらず、各種目で全力を尽くし、お互いに励まし合う姿を見せてくれて、こども達の成長を感じられた良い大運動会になったと思います。

雨天にも関わらず、遠くからいらしてくれた来賓や保護者の方々、いつも近くで見守って頂いている地域の方々と、多くの方に見守られて、こども達も元気に楽しい時間を過ごすことができ、皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。

現担当者は来年も雨を降らせる可能性が高いです。来年こそは雨の心配がないように、「晴れ男」の自信のある方が運動会担当に名乗り出ることを期待しています。

今年の運動会は、キャプテンをやらせてもらいました。僕は、キャプテンとしての声掛けや態度を意識しました。チームの中にはあまり集中のできない人や学年の小さい人がいましたが、中三が中心となってしっかりと取り組めたので良かったです。運動会は、天候が雨のため体育館で行いましたが、昨年とは、違う楽しさのある運動会になったので思い出に残りました。紅組は、負けてしまったけど、勝つことより大切な事が分かったのですごく勉強になった運動会なのでこれからの生活に役立てようと思います。

紅組キャプテン R

僕は、今回の運動会で白組キャプテンをやって学んだ事が2つあります。1つ目は、団結力です。練習では余計な事を話してしまう人たちがいて思うように練習が進まない時もありましたが、本番では息がぴったりで良い結果を残すことができました。2つ目は思いやりです。言うことを聞いてくれなかったりしてイライラしてしまったときもありましたが、副キャプテンのGに支えられて年下に気を遣うことが出来たと思います。

白組キャプテン T



## 中学生に進級して

ぼくは、小六の2月に学園に来ました。小六の時の勉強はワークをやっては本を読んだりする事がほとんどでした。でも中一になってから全てが変わりました。授業も1人でと言うことはなくなり、ワークだけでなくノートを写したり、教科書をみんなで音読したりするようになりました。1ヶ月間それを続けたら慣れない部分もありましたが、今は当たり前のようにできています。これからもしっかりと学校生活を送りたいです。

中一 Y

# 『夢の続き』

—第68回全日本少年野球東北・北海道地区秋田大会—

福祉専門員

熊本 淳

『悔しいです！』率直な感想です。

私たち野球部は、6月28日(水)～30日(金)に行われた第68回全日本少年野球東北・北海道地区秋田大会へ出場しました。秋田県は、気温が高く、我々北海道民にはやや厳しい気候でした。しかし、大会事務局である千秋学園の皆さまは、我々を温かく迎え入れてくれ、内容は前後しますが、我々が試合を終えて会場を後にする際、大会担当者の方は、バスが見えなくなるまでずっと手を振り続け、見送っていただいたことも印象的でした。

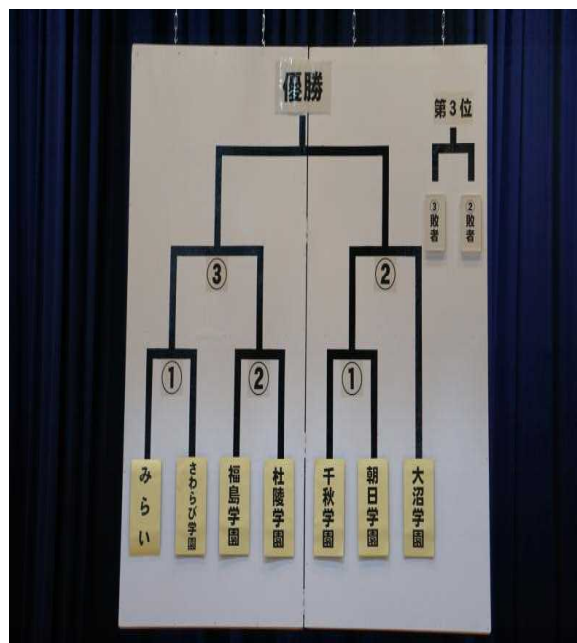
さて、28日(水)宿泊会場でもある秋田県青少年交流センターユースパルにて、選手交流会が行われました。緊張の面持ちでしたが、とりわけ3大会連続出場の主将はチーム紹介をするために、行きの電車から緊張し続けていました。チーム紹介の冒頭で、長い間はあったけど、良く最後までやりきったと思います。また、抽選の結果、千秋学園と対戦が決まりました。千秋学園は、今大会まで2大会連続優勝を果たし、一昨年は全国制覇も成し遂げた強豪チームです。メンバーもスタッフも緊張感が高まります。会場は、今大会第二球場である河辺戸島野球場となり、シード枠で第2試合から登場が決まりました。

そして迎えた試合当日、29日(木)秋田県千秋学園との対戦。勝利すれば全国大会出場。12時15分プレイボール！結果は1対10の3回コールド負けでした。負け惜しみのように感じますが、

この点差のようなチーム力の差はなかったと思います。むしろ力は拮抗していたと感じました。1回表、千秋学園が1番、2番打者のヒットが続き、1点を失いましたが、良く1点で抑えました。2回表、千秋学園の攻撃をすべてピッチャーへのゴロとフライで打ち取り、三者凡退。2回裏、1点を返し、これからという3回表。ミスとエラーが続き、相手のラッキーなヒットも重なり、一挙10点を取られ、3回裏で点数を返せず、ゲームセット。1対1で3回を迎えた時、さあこれからという展開でしたが、大沼学園は緊張などから力を発揮出来ず、やるべきことができなかつた。千秋学園は、慣れたグラウンドで、応援団の後押しもあり、しっかりやるべきことを行った。この差が勝敗を左右したと思います。我々の全国大会出場の夢は、試合開始から1時間も経たないうちに絶たれてしまいました。チームがここぞという場面で力を発揮出来なかつたことにより、これまでにやるべきことは他になかつたのか、何をすべきだったのかとの考えから監督である私も反省し、しばらくは頭から離れません。

翌日30日(金)に行われた3位決定戦、福島県立福島学園との対戦。8時30分プレイボール！結果は9対2の5回コールド勝ちでした。緊張からのミスはありましたが、出塁からの盗塁を重ね、ヒットやランニングホームランもあるなど、昨日より個々の動きは良くなり、おおよそのチーム力は発揮出来た試合でした。

野球部は、この大会で1位になり、全国大会が開催される大阪へ挑むことが目標でした。そのためにもメンバーは、「ピッチャーで良いボールを投げる！」「バッターでヒットを打つ！」「守備でしっかり捕る！」「ベンチワークを頑張る！」「大きな声を出す！」「チームメイトがミスしても、プラスの声かけをし続ける！」「弁当や食事に関することを一生懸命行う！」「全国大会ではメンバーに選ばれる！」また、スタッフも、「このメンバーを勝たせたい」「連絡員としてメンバーが大会へ臨めるようにしたい」「良い旅のしおりに作って思い出にして欲しい」「カメラやビデオに良い表情を残したい」等、各々の熱い気持ちがあったのではないのでしょうか。これらは個々の想いでもあり、メンバー自身のためでもあります。その決意一つひとつはチームの勝利を願い、全国大会出場を目指すことへつながるチームの想いとなっていたはず。そして、チームを感じたはず。



その壮大な夢は、夢で終わらず、現実になる大きなチャンスだったわけですが、現実はそう甘いものではありませんでした。夢が現実になっただけ、悔しさが残ります。また、地域の野球チームである鹿部シニアスターズ、八雲町立野田生中学校、学園・鈴蘭谷分校の職員の協力があり、練習試合を経験させていただき、さらには激励メッセージも頂戴致しました。また、各寮ではユニフォームへの縫い付けや日頃から励ましの言葉をかけてくれました。そのような熱い激励と温かな協力を得た中での現実。なおさら、悔しさがにじみ出てきます。

ただ、この体験を無駄にしてはいけません。メンバーのこれからを考えたとき、知らぬ土地へ行き、大沼学園というチームを感じた体験や力を発揮出来ず敗北し、本気で悔しさを体験したメンバーもいます。全国大会を本気で考えた分だけ、悔しさは大きいですが、本気で悔しかったかどうかは、これからの真剣な取り組みができるかによってわかるでしょう。それを期待しています。それは、野球部の活動を通じて大切なことを学んでいると思います。

これから野球部の活動は後半戦へ。野球部のメンバーへ、もう一度夢の続きを見ようぜ！そのためにも、必ずやってくる活動終了の時、大沼学園で野球をやって良かったと思えるためにも、真剣に全力で練習し、大沼地区少年野球大会を迎えて欲しいと願っています。また、日頃より野球部を応援していただいている皆さまには感謝申し上げます。これからも応援よろしくお願い致します。



僕は、昨年の冬から今回の野球大会までいっぱい練習し、成功や失敗を繰り返してきました。最初は、失敗ばかりしていたけど練習を重ねていくうちに失敗が減り、成功の方が増えてきました。大会当日は、ミスがあったけど最後まであきらめずにやりきり第3位という結果でした。今回の大会で悔しい思いが残っているので、もっと今まで以上に練習を積み重ねて仲間を信じて9月の大沼地区大会で結果を出そうと思います。

中三 G



## お世話になりました！！(異動された先生方)

～平成29年4月1日付～

中西 芳之 十勝総合振興局保健環境部児童相談室（帯広児童相談所）  
内田 智能 渡島総合振興局保健環境部児童相談室（函館児童相談所）  
西村 恵一 北海道保健福祉部子ども未来推進局子ども子育て支援課

### ご寄附食品等

皆様のご厚情に心より感謝申し上げます。

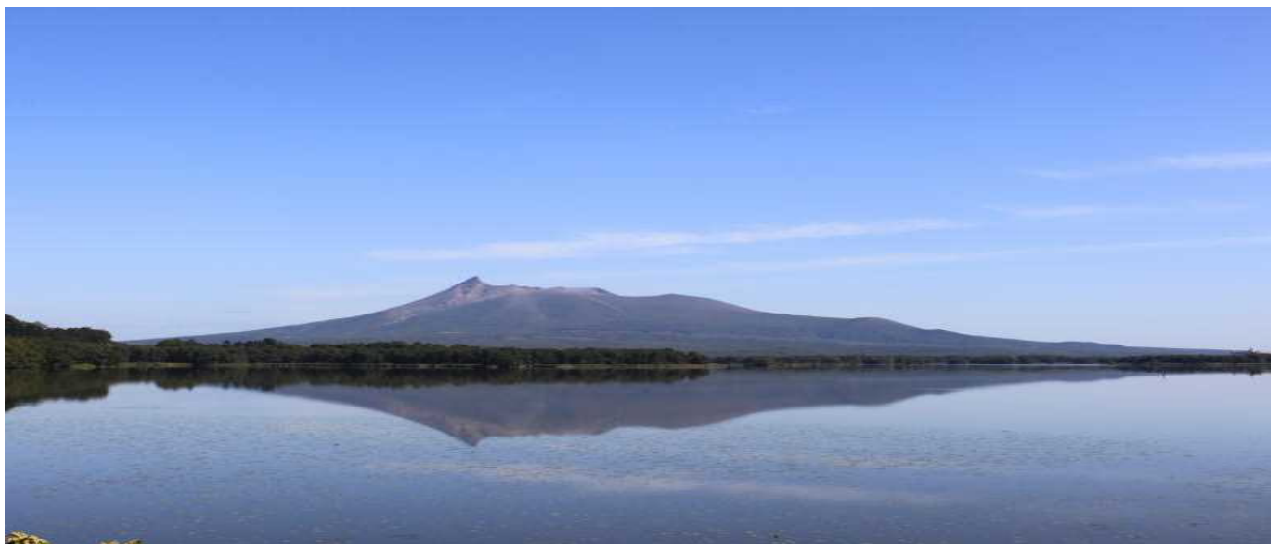
(平成29年4月1日～6月) \*敬称略

宮村内科医院（七飯町） 大成長生園（大成町） 佐藤隆三（七飯町） 大沼国際コンベンション協会（七飯町） 高島純（七飯町） 七飯更生保護女性会（七飯町） 澄マサノ（函館市） 敬楽荘（北斗市） 大中山小学校（七飯町） ケルン（森町） 大沼地区振興会（七飯町） 北海道ハイテクノロジー専門学校（恵庭市）

### 編集後記

春は私たち人間や動物、自然も生命の躍動感を感じさせるような季節だと思います。同じ環境にいらながらも、春を迎えるだけで新鮮な気持ちになります。大沼の自然は、四季の移り変わりがはっきりとする場所です。それぞれの四季によって彩られる学園で生活することは、とても幸せなことかもしれません。私は、この時期に子どもたちと朝の日課であるマラソンを終えたときに、国道越しに見える小沼が太陽の光によって「湖畔」がキラキラと映し出される光景がたまらなく好きです。その光景を見ると、その日1日が気持ちよくスタートする事が出来ます。私も大沼に住み始めて10年以上が経ちました。神奈川に住んでいた頃は、何かイライラすることが多かった様な気がします。しかし、年齢のせいもあるかもしれませんが、この大沼の美味しい空気とお水、素晴らしい自然環境によって心が穏やかになり、イライラすることが少なくなったような気がします。学園で生活する子どもたちも、入所当初はどこか攻撃的だったり、表情や言動が刺々しかったです。学園での生活をしていく中で、次第に表情、言葉使い、行動、態度、心が柔らかくなり、穏やかになっていきます。人は環境によって変化することを実感します。人は生きる環境がいかに大切なのかをつくづく感じます。大沼の自然豊かな環境と、その環境の中で暮らす子どもたちを学習面で支えていただいている鈴蘭谷分校の先生方、生活面で支える学園の先生方によって子どもたちはたくさん成長していきます。

大沼学園及び鈴蘭谷分校をいつも支えてくださっている関係者の皆様方、今年度も変わらぬご支援ご協力のほど、よろしくお願い致します。



# 学 園 の 動 向

平成29年度【4月～6月】

- 4月 3日 ・自立指導係佐藤勇介着任  
4日 ・佐藤孝幸自立支援課長、青山康二主査着任  
7日 ・着任式、1学期始業式  
2計測、視力、聴力検査  
9日 ・理髪  
10日 ・内科検診  
・函館少年鑑別所着任挨拶  
森田所長来所  
12日 ・旭川児相児童面接、高島希児童福祉司来所。  
・札幌市児相経過診、中谷麻衣、遠藤真梨那児童福祉司、山本智義、石山博基心理司来所。  
17日 ・授業参観日  
19日 ・函館児相着任挨拶  
森みどり所長、曾根田敏彦子ども支援課長、飯田聖治相談支援係長、内田智能主任児童福祉司、南部葵判定援助係長、岡部ひとみ、内城剛児童福祉司、鈴木優美、松山一也判定員来所。  
20日 ・医診（加藤メンタルクリニック加藤知子副院長）  
・東北北海道施設長役員会（秋田市、園長出席）（～4/21まで）  
23日 ・湖畔清掃（分校）
- 5月 2日 ・函館山登山遠足  
11日 ・札幌市児相経過診、石塚、中島、本田、齊藤児童福祉司、福田児童心理士来所。  
12日 ・函館児相児童面接、城米大輔、飯山賢二児童福祉司来所。  
16日 ・眼科検診  
17日 ・医診（加藤メンタルクリニック加藤知子副院長）  
18日 ・道保健福祉部子ども未来推進局、花岡祐志局長、角谷里佳主査来所  
19日 ・七飯町民生・児童委員見学  
21日 ・理髪  
22日 ・内科検診、身体測定  
25日 ・運動会総練習  
26日 ・韓国少年保護施設職員視察研修（5名）  
27日 ・運動会  
（雨天のため大沼中学校体育館で開催）

- 5月 30日 ・中央児相児童協議、渡辺典子子ども支援課長来所  
・実習生受け入れ、北海道ハイテクノロジー専門学校大槻徹平氏
- 6月 1日 ・児童等面接、道保健福祉部子ども未来推進局吉野拓主幹、千葉泰之主査、中央児相、勝沼智子児童福祉司、函館児相、飯田聖治相談支援係長、中島隆行児童福祉司来所。  
・札幌市児相経過診、岡本つむぎ児童福祉司、石山博基心理司来所。  
7日 ・全児協役員会（神戸市、園長出席）  
8日 ・全国施設長会議、施設長研修会（神戸市、園長出席）（～6/9まで）  
・函館児相とのケースカンファレンス、南部葵判定援助係長、佐藤加奈子専門員、佐々木若菜判定員、鈴木優美判定員、松山一也判定員来所  
15日 ・司法修習生見学実習  
16日 ・避難訓練  
18日 ・理髪  
・釧路児相児童面接、阿波加子ども支援課長来所  
20日 ・ブラッシング指導（分校）  
21日 ・医診（加藤メンタルクリニック加藤知子副院長）  
・旭川児相児童面接、高島希児童福祉司来所。  
・室蘭児相児童面接、福浦直樹児童福祉司来所。  
26日 ・実習生（大槻徹平氏）実習終了。  
28日 ・東北北海道少年野球大会（於：秋田市）参加（児童15人、引率6人）（～6/30）三位入賞

